

# バラの香りを 感じてみよう♪

バラにはたくさんの種類があり、花の色や形が違いうように、香りにもそれぞれ特徴があります。  
バラの香りは大きく7つに分けることができ、須磨離宮公園ではそのうち6つの香りを体験できます。  
お花に顔を近づけて、香りの違いを感じてみましょう♪

## チャレンジ!

- ・地図を見ながら①～⑥のバラを見つけて香りをかいてみよう!
- ・いろいろなバラの香りをかいて、お気に入りの香りを見つけよう!



**ダマスク・クラシック**  
古くから香料として使われている、いわゆる古典的なバラの香り。

① スザニール・ドゥ・ラ・マルメゾン



**ティー**  
紅茶の葉のような上品で優雅な香り。

③ ガーデン・パーティ



**ブルー**  
青バラ系が持つ独特な香り。ダマスク・モダンとティーの香りが混在する。

⑤ シャルレル・ドゥ・ゴール



**ダマスク・モダン**  
ダマスク・クラシックの香りを受け継いでいるが、より情熱的で洗練された香り。

② パパ・メイヤン



**フルーティ**  
桃やリンゴなど様々な果物のような香り。

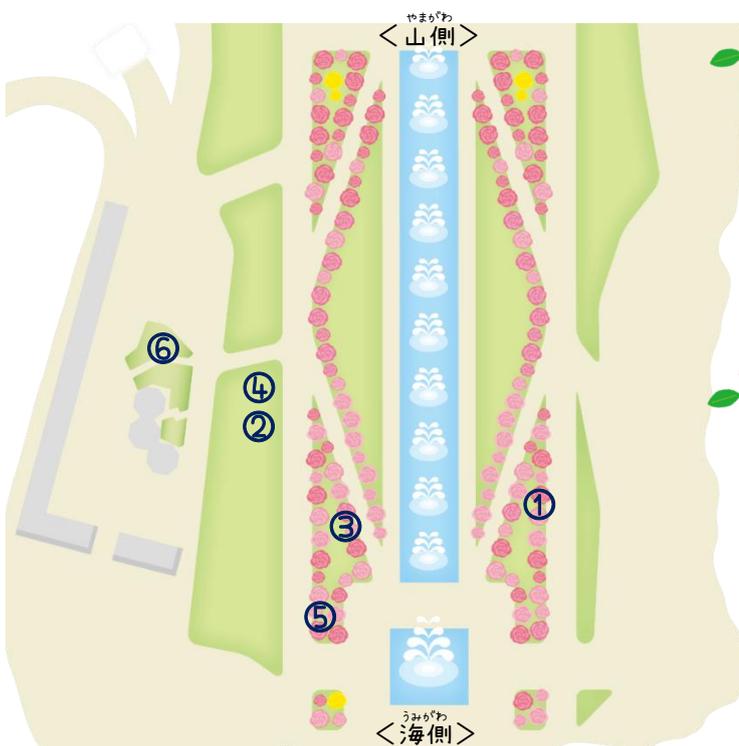
④ ダブル・デライト



**スパイス**  
ダマスク・クラシックの香りを基調としたスパイスな香り。

⑥ ハマナス

★7つめの香り→ミルラ(アニス様):ハーブのアニスに似た香り



## バラの香りと人との関わり

バラと人との関わりは、紀元前12世紀頃に古代ペルシアで薬用や香料用に栽培したのが始まりだといわれています。その魅力的な香りが、バラが広く栽培されるきっかけのひとつとなったのです。今でも香水や化粧品、洗剤、シャンプーなど、あらゆる場面でバラの香りが使われており、私たちの暮らしと深く関わっています。

## 春のバラと秋のバラ

秋のバラは春のバラよりも香りが濃厚であるといわれています。春のバラは早朝に開花し、日中には香りが揮発してしまいます。対して、日の出が遅くなり気温も低くなる秋に咲くバラは、朝から昼にかけてゆっくりと開花するため、香りが長持ちし、香りがよいと感じるようです。

参考 URL: 「蓬田の香り研究所」 <http://www.baraken.jp/index.html>  
「みんなの花図鑑」 <https://minhana.net/>